

人と自然にやさしいまちへ！

30年後の茨木市

チーム：KOMOCHI

桑田奈穂子

小阪広大

茨木市の「今」を知るために…

- 小学生・中学生を対象のアンケート（小学5年生40名、中学1年生39名）
- 子育て世代との意見交換
- 若手・ベテラン農家さんへのヒアリング
- コミュニティファシリテーターとの情報交換
- 各種データの調査





学校がしんどい...

教えるのは先生だけ？

茨木市の「今」

うちの畑の後継ぎがない...

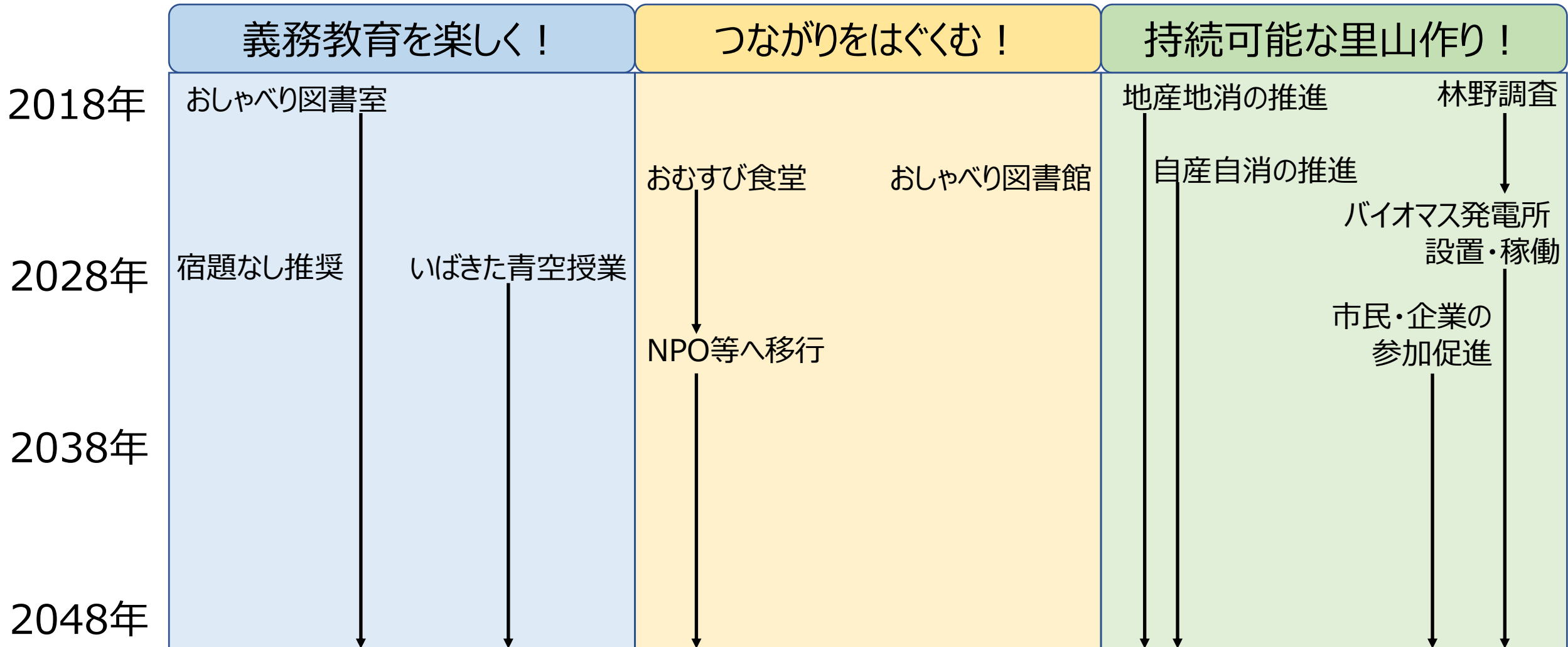
米を作っても金にならん...

子育てって、孤独...

ホッとできる場所がほしい...

30年後に目指したい茨木市像

よりそう暮らし はぐくむ暮らし



教育



つながり



自然

政策①

義務教育を楽しく

- ・おしゃべり図書室
- ・宿題をなくそう
- ・いばきた青空授業

外部講師・ボランティア	185万円
青空授業農地代	1848万円
雑費	350万円

総額 2383万円



政策②

つながりをはぐくむ

- ・おしゃべり図書館
- ・おむすび食堂



市民ボランティア	259万円
コミセン・空き家使用料	1332万円
米・保管庫	450万円
雑費	600万円

総額 2641万円

政策③ 持続可能な里山作り

いばきたミーティング

地産地消・自産自消の推進

循環型社会の構築

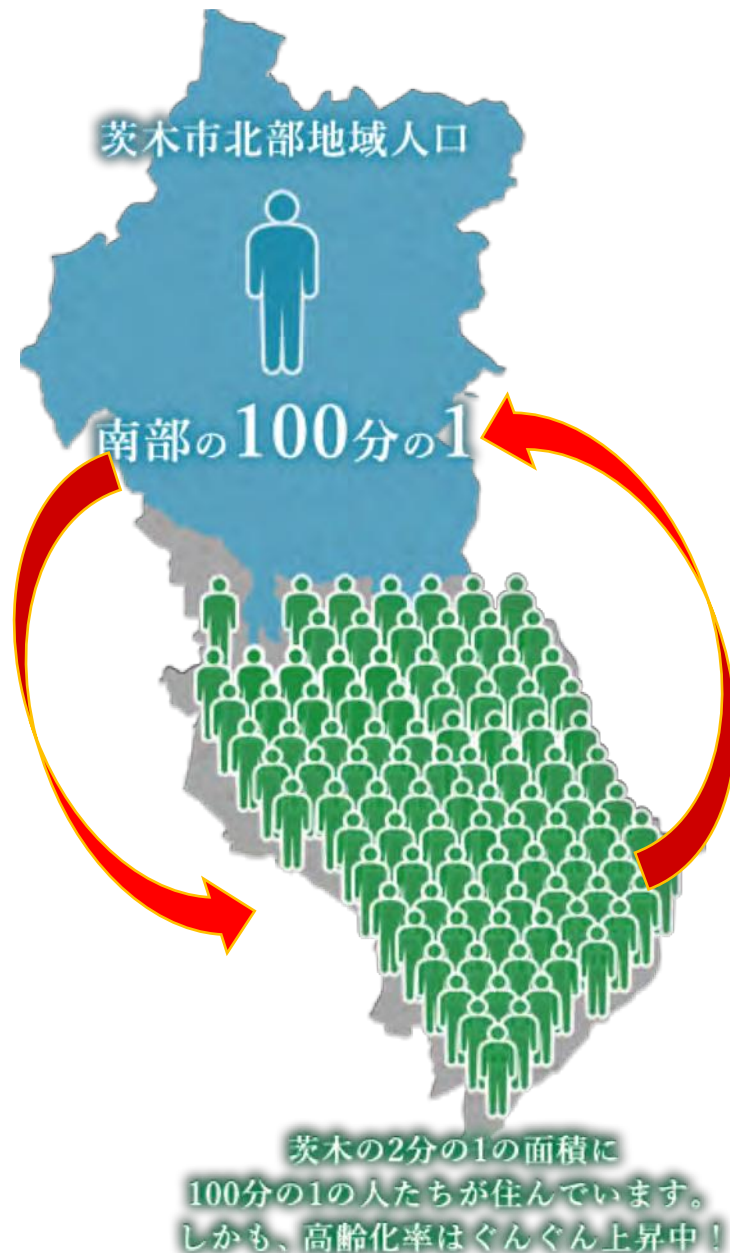


茨木市の強み

市街地と里山が近い
農地・森林面積が広い



人やモノが茨木市内で**循環**し
自給自足できる社会へ

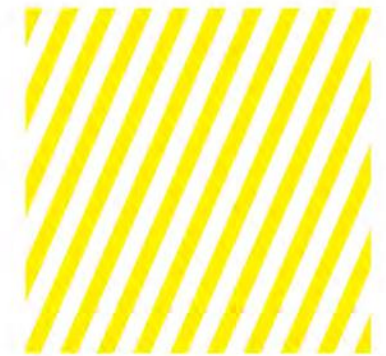


人件費	1200万円
発電所設置費	3000万円
雑費	80万円

総額 4280万円

教育

次なる
茨木へ。



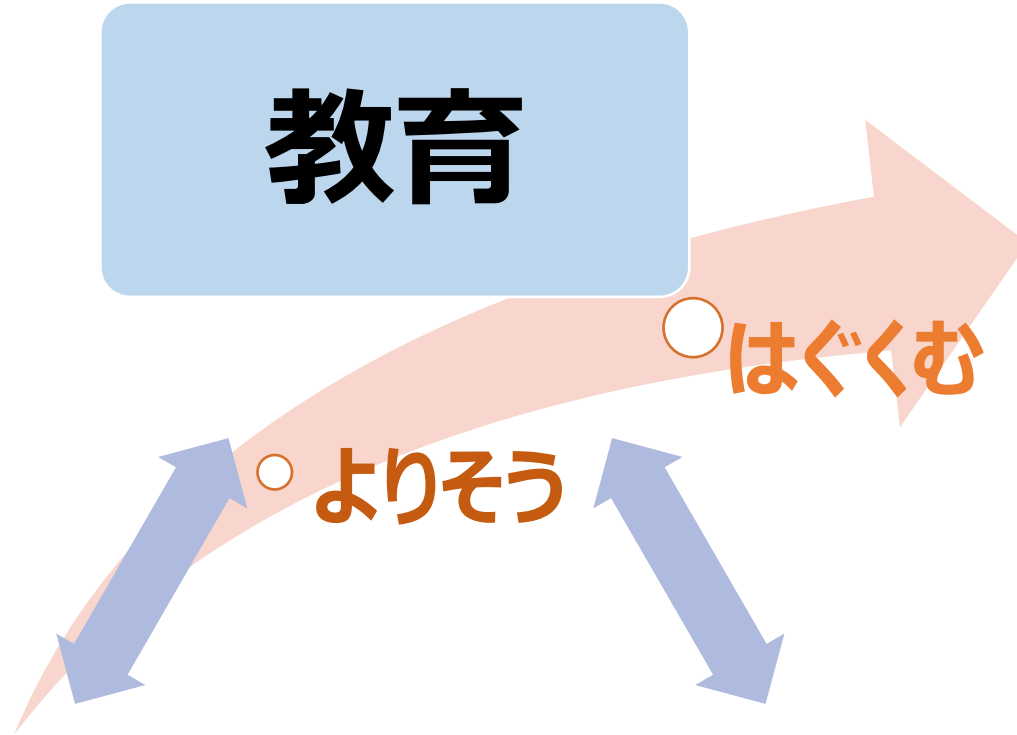
みんなです。

はぐくむ

よりそう

つながり

自然



30年後

みんなが**茨木**で**笑**っていられますように。